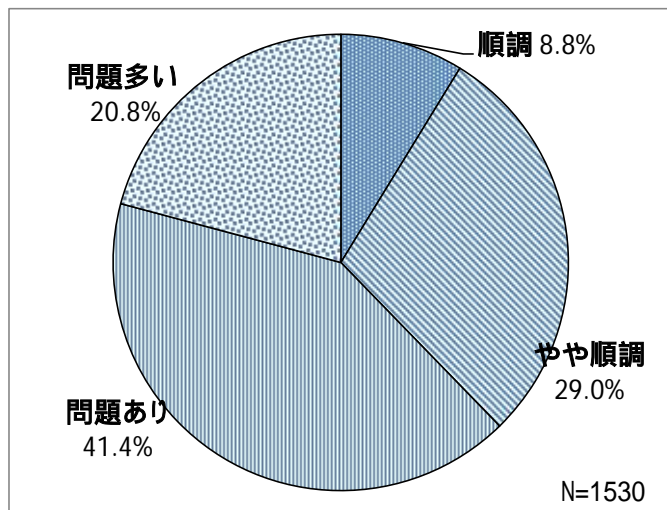


荒川区製造業調査・経営支援事業の実施報告書（抜粋）

景況・経営全般

Q 1 - 1 事業の現状（1 選択）

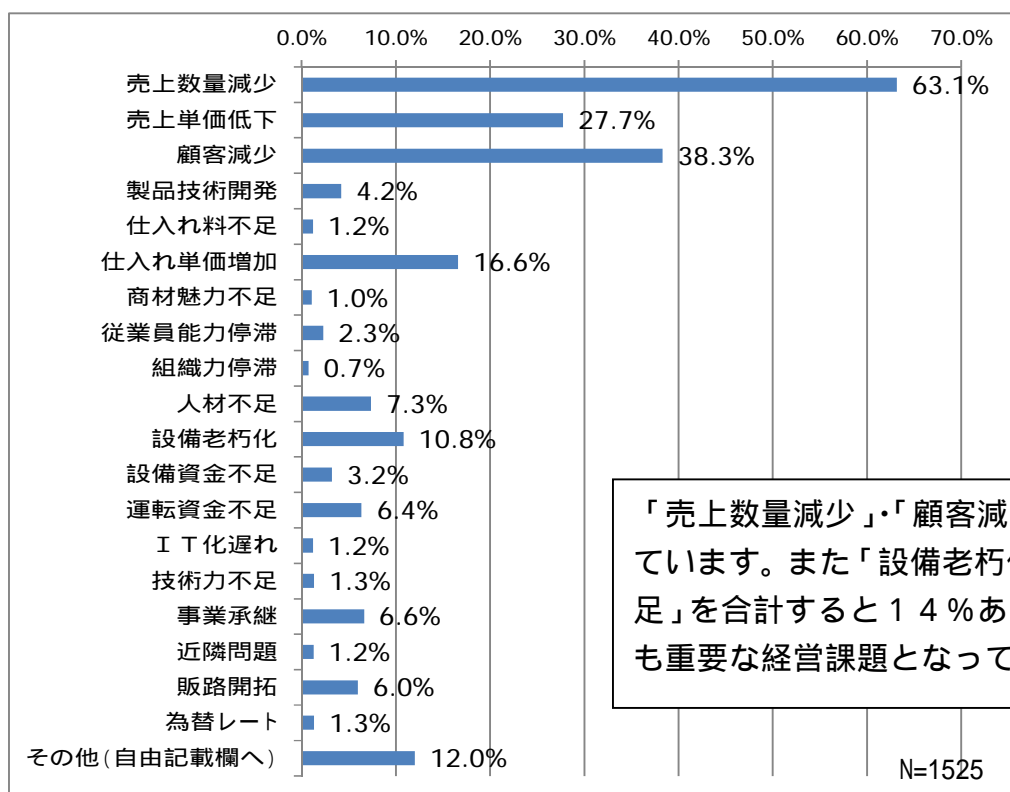


「問題あり」・「問題多い」が、全体の2 / 3 近くを占めています。

[自由記載より抜粋]

- ・リーマンショック後の落込みからやや回復しつつある。(金属製品製造業)
- ・特殊なメッキ加工に特化しているため。競合先が少なく受注順調である。(金属製品製造業)
- ・中国等外国との価格競争に太刀打ちできない。(パルプ・紙・紙加工品製造業)
- ・東日本大震災で主要機械設備が壊れて以降受注が大きく減少してしまった。(金属製品製造業)

Q 1 - 3 現状課題（3 個まで選択）

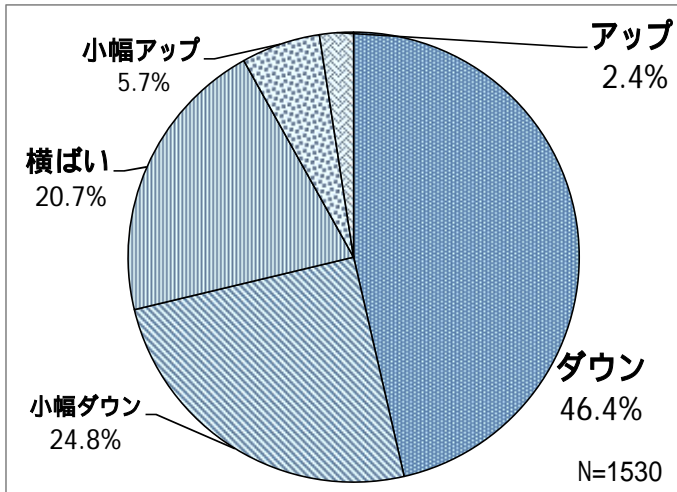


「売上数量減少」・「顧客減少」が上位となっています。また「設備老朽化」・「設備資金不足」を合計すると14%あり、設備の老朽化も重要な経営課題となっています。

[自由記載より抜粋]

- ・主要取引先への依存度が高過ぎるので取引が中止になると心配である。(プラスチック製品製造業)
- ・仕事量の波が大きいので売上の変動が激しい。(印刷・同関連業)
- ・最終顧客の海外移転があり、売上は低下している。(印刷・同関連業)

Q 1 - 4 売上高推移（1選択・過去5年間ピーク時比較）



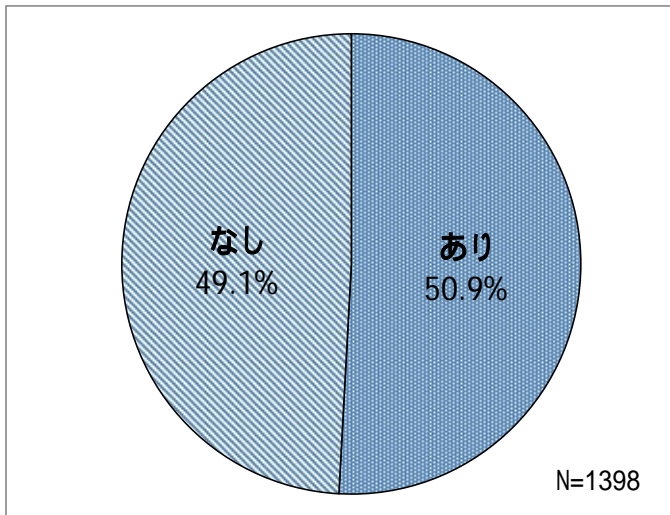
「ダウン」「小幅ダウン」が7割以上となっています。

[自由記載より抜粋]

- ・国内市場が縮小しても撤退する会社が多いので、残った会社にそれなりの受注が入ってくる。(その他の製造業)
- ・リーマンショック後、取引先大企業が内製化したため売上が20%ダウンした。(金属製品製造業)
- ・売上高はピーク時の1/3の状況である。(パルプ・紙・紙加工品製造業)

融資・資金繰り関係

Q 2 - 1 借入残高

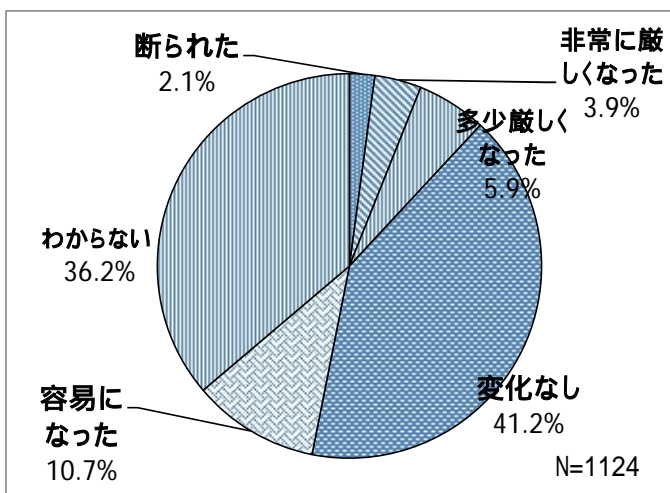


借入金残高の有無に関して、拮抗しています。

・借入残高について

100万円以下	44社
100万円超～500万円迄	135社
500万円超～1000万円迄	83社
1000万円超～5000万円迄	149社
5000万円超～1億円迄	49社
1億円超	49社

Q 2 - 4 金融機関の貸し出し姿勢



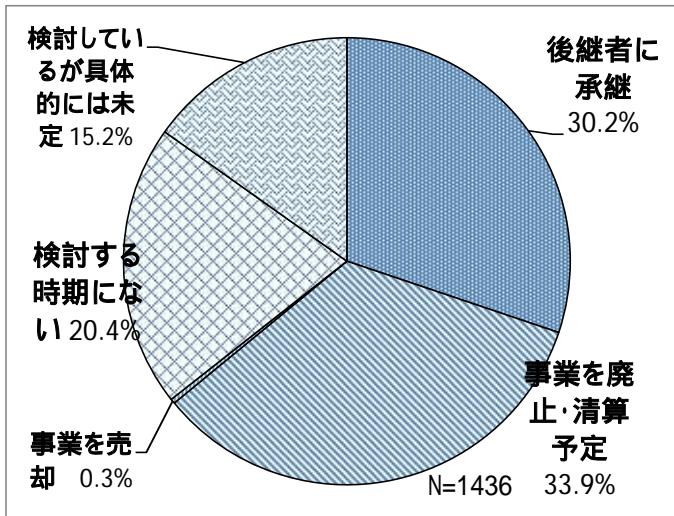
厳しくなった傾向を合計すると11.9%であり、「容易になった」を上回っています

[自由記載より抜粋]

- ・細かなチェックが多くなってきた。(印刷・同関連業)
- ・借りにくい状況にある。厳しい経営が続いている。(機械器具製造業)
- ・リーマンショック後の業績悪化、設備資金借入負担などからやや厳しい状況。(金属製品製造業)

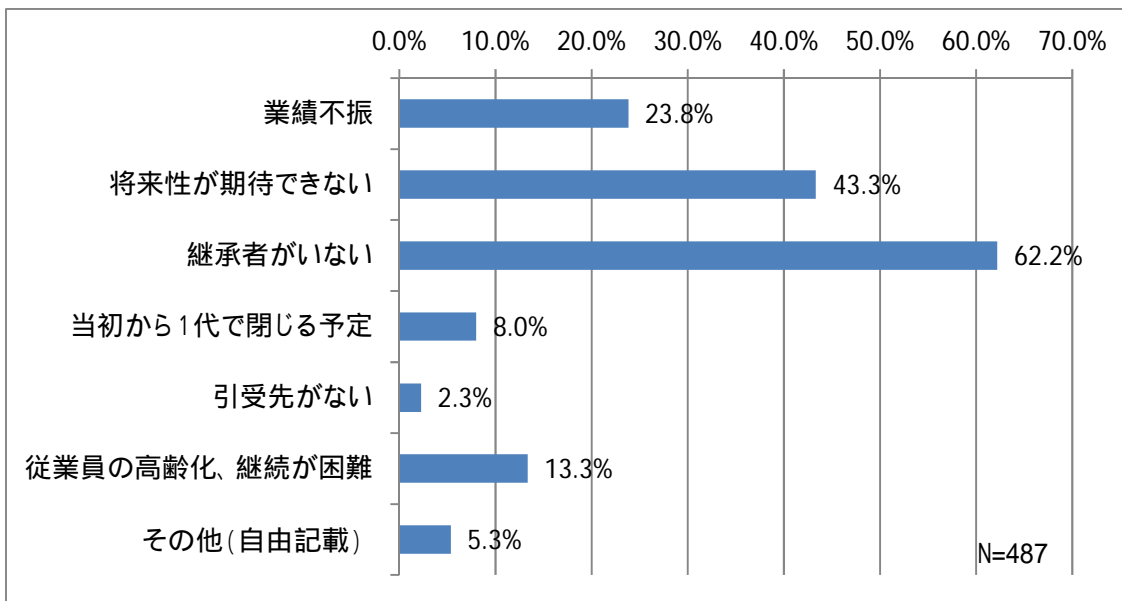
事業の承継

Q 3 - 1 承継先 (1 選択)



「事業を廃止・清算予定」が 1 / 3 を占めています。

Q 3 - 3 廃止の理由 (複数可)



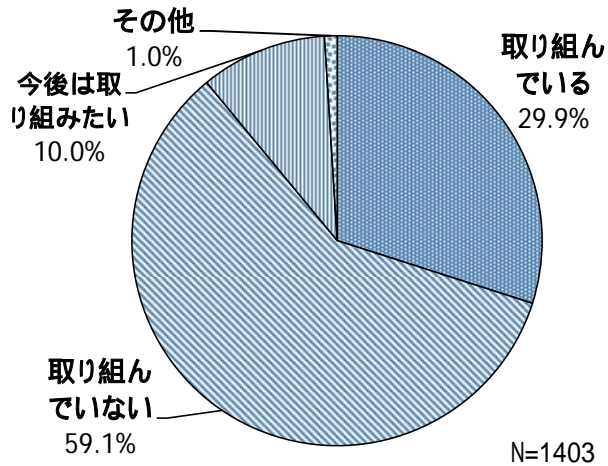
「後継者がいない」が最も多い回答を得ています。

[自由記載より抜粋]

- ・業績不振。将来性が期待できない。当初から1代で閉じる予定。
(繊維工業、金属製品製造業、印刷・同関連業、プラスチック製品製造業など)
- ・業績不振。将来性が期待できない。引受先がない。従業員の高齢化。継続が困難。
(印刷・同関連業、金属製品製造業、家具・装備品製造業など)

販路拡大

Q 6 - 1 新たな販路開拓 (1 選択)



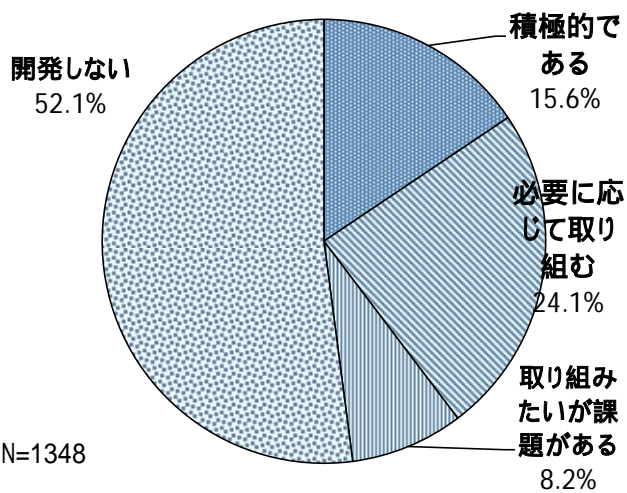
「販路開拓に取り組んでいない」が、半数以上を占めています。

[自由記載より抜粋]

- ・百貨店の売り上げが減少したので、取引がなくなった。(木材・木製品製造業)
- ・仕事仲間からの紹介が中心である。(なめし革・同製品・毛皮製造業)
- ・取り組む余裕がない。(機械器具製造業)
- ・展示会への出品を行っている。(その他の製造業)

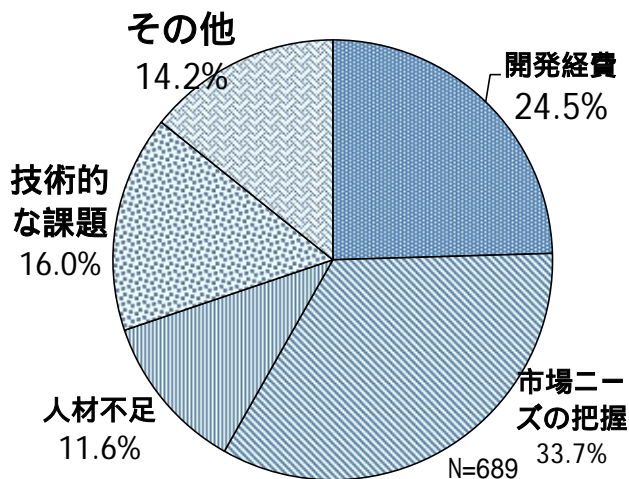
新製品・技術の開発

Q 7 - 1 取り組み意欲 (1 選択)



「積極的である」「必要に応じて取り組む」を合計すると、40%近くが回答しています。

Q 7 - 2 取り組む際の課題 (1 選択)



「市場ニーズの把握」が最も多い回答となっています。

[自由記載より抜粋]

- ・なかなか費用と時間がない。(繊維工業)
- ・開発しても売価に反映できない。(その他の製造業)
- ・開発に必要な人手も集まらない。(繊維工業)
- ・産学共同に期待。(パルプ・紙・紙加工品製造業)
- ・量産可能になると中国へ移管される。(金属製品製造業)

自由記載

企業経営の課題、今後の展開について

- ・若手経営者・後継者を支援してほしい。
- ・景気がよくない、オリンピック需要に期待している。
- ・廃業の相談を充実してほしい。

新製品開発支援について

- ・デザイン支援、産学連携を進めてほしい。

販路開拓について

- ・今までの得意先のみ取引であるが、新規取引も検討したい。
- ・グル - プで展示会出展する場合の補助制度を強化してほしい。

仕入・製造・品質管理について

- ・設備の更新がしたいので補助制度を充実してほしい。
- ・原材料の値上げになっているが、価格に転嫁ができない。
- ・区内で下請け先を紹介してほしい。

IT活用支援・情報発信

- ・スマホが流行っているので社員教育したいので、支援してほしい。

共同化、グループ化、イベント支援

- ・若手のグル - プが交流会・セミナーを行っているが、活動への各種支援してほしい、
- ・日本のものづくりの現場は崩壊している。このままでは心配である。
- ・異業種の交流の活発化を支援してほしい。

融資について

- ・老朽化で新築したが、区の融資制度で助かっている。
- ・受注が拡大しているが、課題は運転資金である。
- ・事業が拡大している。資金需要が高まっているので融資の協力をお願いしたい。

各種補助制度について

- ・工場を立て直したが、家賃補助制度で助かっている。引き続けてほしい。
- ・補助金も零細企業枠を設けるなど、地域特性に合ったものを補助するなど検討してほしい。
- ・助成の成功事例を多く紹介してほしい。
- ・荒川区の施策を有効活用している。
- ・補助金申請の簡素化を進めてほしい。

その他

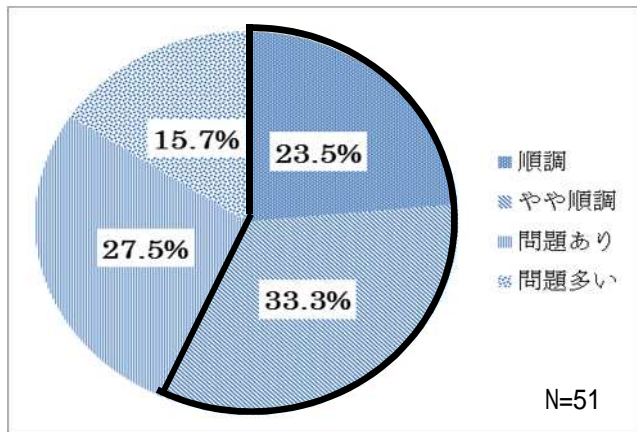
- ・図書館の工学関係書を充実してほしい。

調査企業全体とM A C C企業の比較（抜粋）

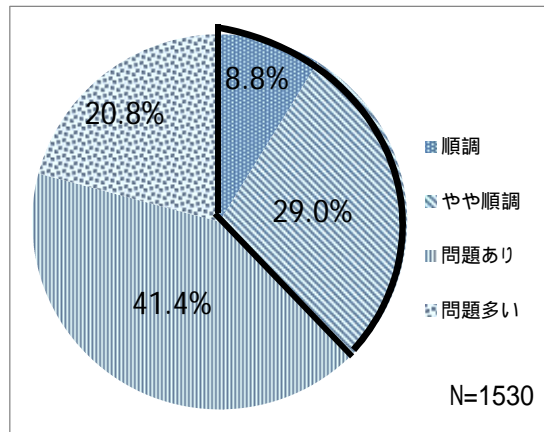
（M A C Cプロジェクト参加企業数：94社）

・事業の現状（Q1 - 1）

M A C C企業の場合



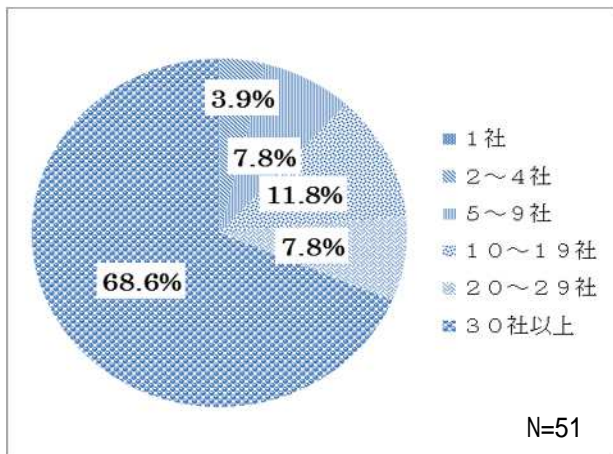
調査全体



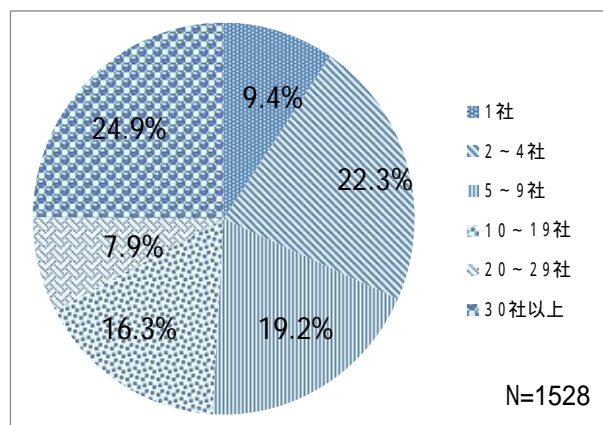
全体では「順調・やや順調」が約38%に対して、M A C C登録企業では約57%であり、高い数値を示しています。

・顧客社数（Q1 - 6）

M A C C企業の場合



調査全体



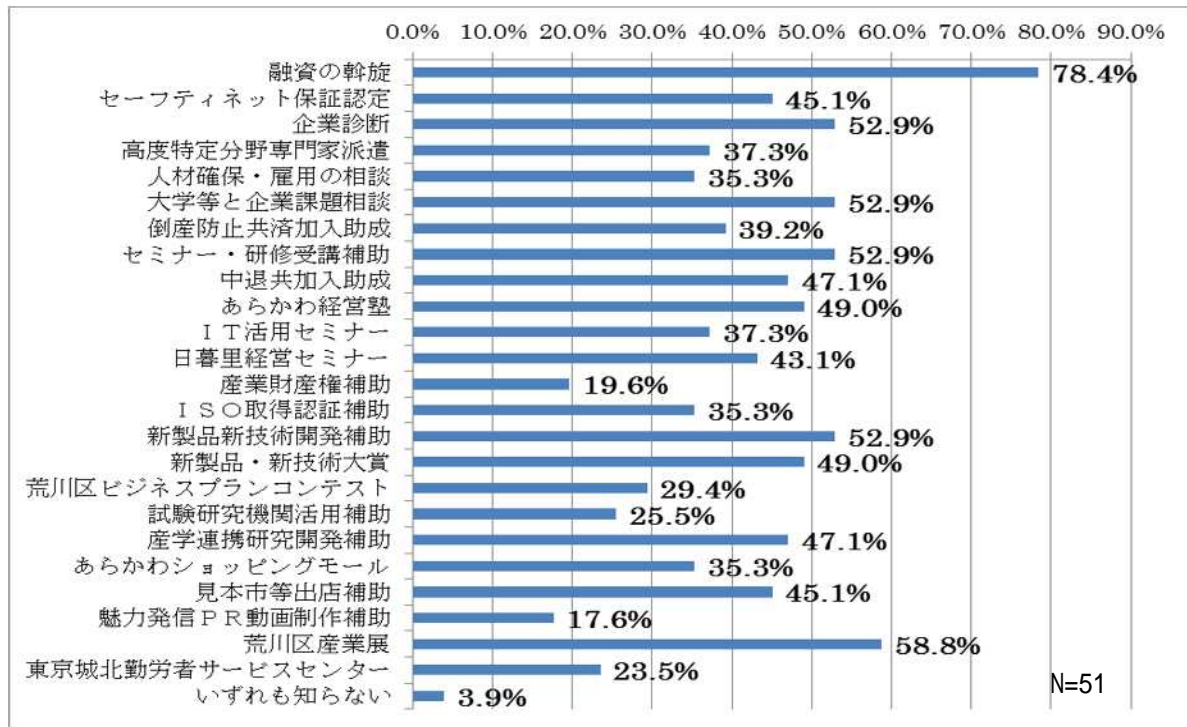
選択肢	回答数	構成比
1社	0	0.0%
2~4社	2	3.9%
5~9社	4	7.8%
10~19社	6	11.8%
20~29社	4	7.8%
30社以上	35	68.6%
合計	51	100.0%

選択肢	回答数	構成比
1社	144	9.4%
2~4社	341	22.3%
5~9社	293	19.2%
10~19社	249	16.3%
20~29社	121	7.9%
30社以上	380	24.9%
合計	1528	100.0%

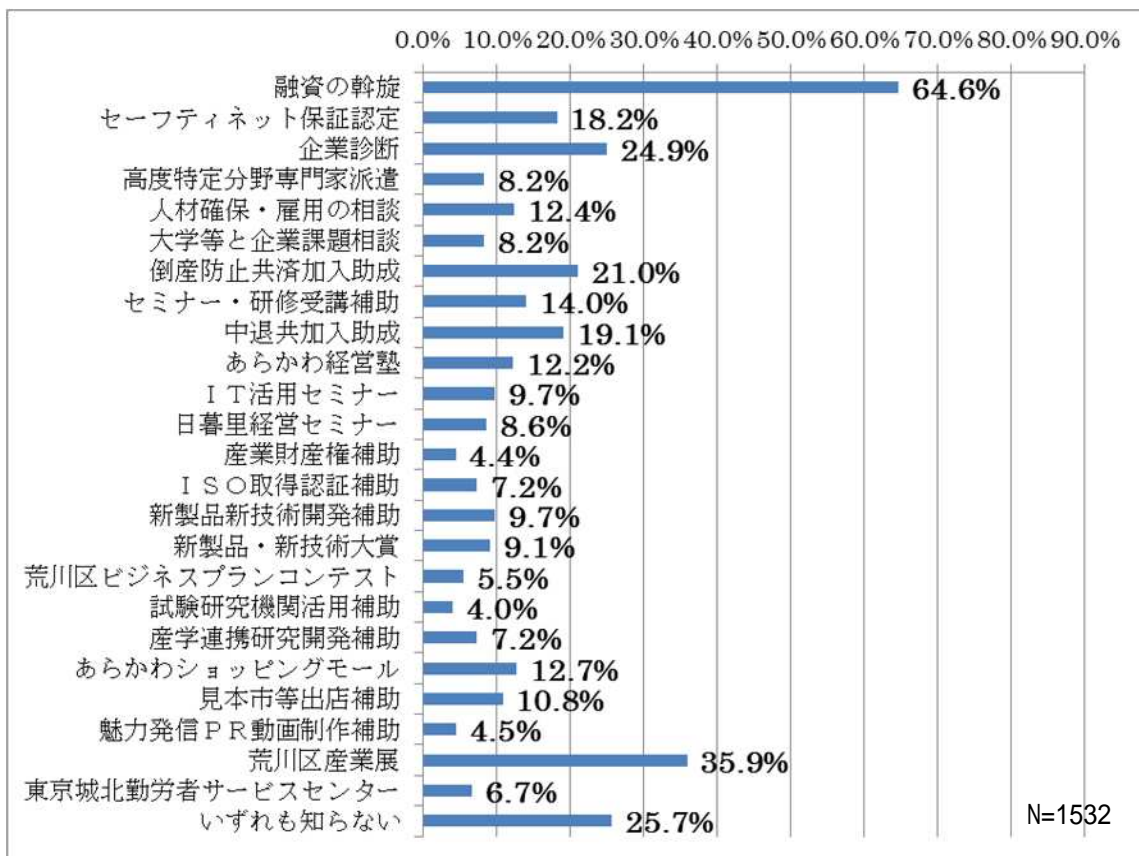
顧客数もM A C C企業は、多くの顧客を持っていることが分かります。

・区が実施する事業の認知（複数回答）(Q1-11)

MACC企業の場合



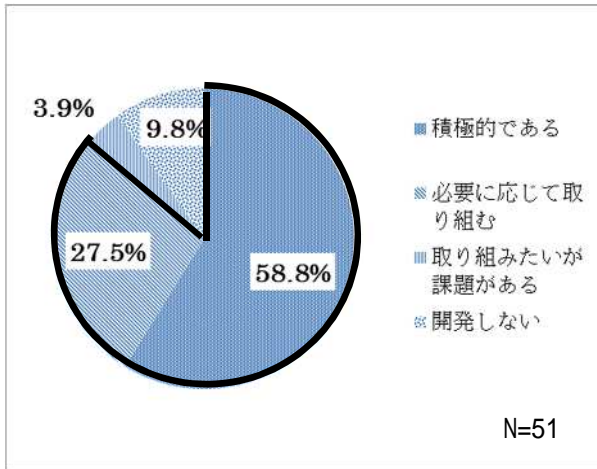
調査全体



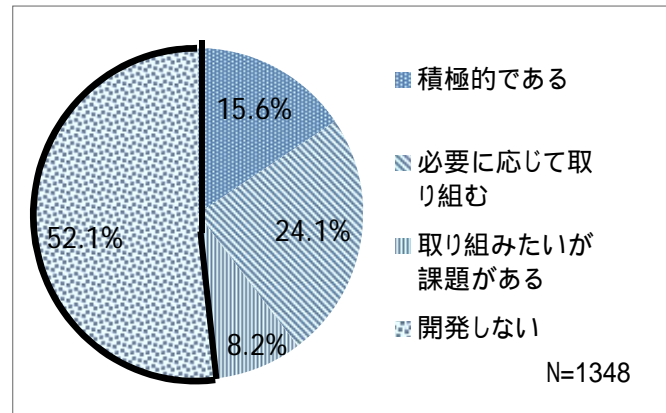
区の施策の認知度は、総じてMACC企業が極めて高い回答が得られています。

・新製品・技術開発 取り込み意欲 (Q 7 - 1)

MA C C 企業の場合



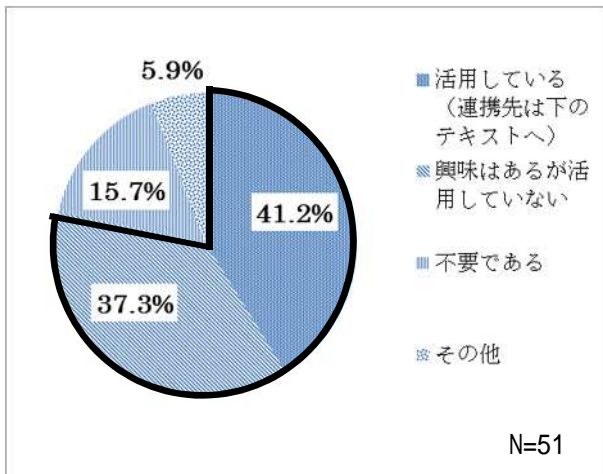
調査全体



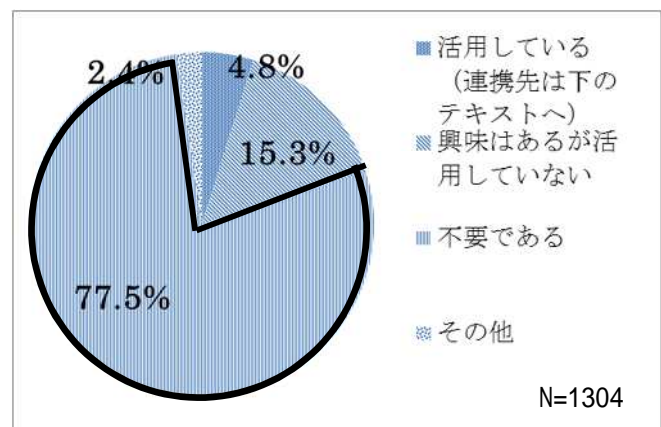
MA C C 企業は、開発に取り組む (積極的・必要に応じて) が約 8 0 % と非常に高い状況にあります。

・大学・研究機関との連携・活用 (Q 8 - 1)

MA C C 企業の場合



調査全体



全体企業は必要がないが 7 7 . 5 % と非常に高い状況にありますが、MA C C 企業は活用している、興味があるが約 8 0 % と積極的な姿勢が見られます。